

学校教育が再開されるために最優先に取り組むべき課題（例示）	
検証委員会から	① 「1 居住エリアの除染の実施」 ② 「3 長期目標1ミリシーベルトに向けた継続的取組み」 ③ 「6・7 上・下水道の確実な復旧」 ④ 「8 JR常磐線の全線復旧に向けた継続的取組」 ⑤ 「9 医療施設及び医療従事者の確保」 ⑥ 「11 買い物ができる環境の整備」 ⑦ 「16 放射線相談窓口の設置」
学校周辺環境	⑧ 通学路（どこが通学路になるのか）の除染（①・②と関連） ⑨ 住居の確保（家庭及び教職員） ⑩ スクールバス（SB）の台数確保（①・⑧・⑨と関連） ⑪ 人員確保（指導主事、放射線測定員、SB運転手、給食調理員、ALT、支援員等） ⑫ コミュニティースクール構築 ⑬ 放課後や休日の学びの場の確保（施設確保、各種団体の連携）
学校教育関連	⑭ プールの排水（解体）とプール施設の確保（水泳指導） ⑮ 新しい教材・教具購入の予算（ICT機器、図書等も含む） ⑯ グランド、屋内遊び場、SB乗降場所の整備 ⑰ 関係機関、他市町村の連携の協定締結 ⑱ 避難経路・防災計画の策定（町防災計画と関連）

平成29年3月までに最優先に取り組むべき16の課題 浪江町「有識者による検証委員会」	
除染	1 居住エリアの除染の実施 2 追加的な除染等の実施 3 長期目標1ミリシーベルトに向けた継続的取組み 4 帰還困難区域の除染計画の策定 5 廃棄物の減容化の検討
インフラ復旧	6 上水道の確実な復旧 7 下水道の確実な復旧 8 JR常磐線の全線復旧に向けた継続的取組
生活環境整備	9 医療施設及び医療従事者の確保 10 介護サービスの段階的環境整備 11 買い物ができる環境の整備 12 事業者再開支援 13 郵便再開 14 原子力災害に対応した安全確保体制の整備
放射線対策	15 モニタリング体制整備 16 放射線相談窓口の設置